



神から始まる「新しい自分」を見出すために一主の救いに輝かされて—

2023年3月11日第54回CSK中学科教師研修会での講演を聞いて

報告 総主事兼CSK主事 嶋田博考



講師の中村稷師は、さまざまな働きの中で、聖望学園中学校高等学校（埼玉県飯能市）で聖書の授業を担当しておられます。

「中高生と接していて一番感じるのが、すべてにおいてわからないといけないというエンジンがフル回転で、疲れきっている彼らの表情です。その表情をいつも見えています。今回はわからないということの大切さを語ります。わからないということは神様から始まるということ。そのことを指し示していると思います。神様から始まる新しい自分とともに見出しながら、中高生の葛藤に寄り添えたらなと思います。何かをしなきゃ、わからなきゃというところで生き急いで、苦しんでいる彼らです」。

中村師もまた若い日に同じ苦しみを通りました。左手の指がないという障害をお持ちで、人よりも劣っているという意識から、だれかになろうと思って生き急ぎ、苦しんだのです。家出をした先の

アメリカで、教会の牧師である日本人に出会います。「死にたい」と繰り返す自分にその恩師が語ります。「将来、あなたのように遠回りをしてきた人が現れる。救える人はあなたしかいない。その人のために生きなさい」と。「はい、わかりました」と答えてしまいましたが、それは「何もないところに新しい希望が入り込み、神様の愛が私の中に入った瞬間」でした。

まず、「見えないもの」と「見えるもの」について語るⅡコリント4:18が読まれました。中村師の専門はキリスト教思想史哲学です。「カントは哲学者として好きですが、カントによって超越性がかき消されました」と語ります。背後にある見えない世界をないものとするので、わからないことが失敗となる世界観です。ある若い信仰者に「神様を感じないからいけない」のではなく、「感じようが感じまいが神様はいるんだよ」と伝える必要があったとのこと。今の若い人について、「わからないままでいさせてもらえない苦しさ」ということばが印象的でした。

弱さについて、「弱さをなくすのではなく、弱さを通して神様を見るべきです」とも語られました。「神様はどのようにしてくださるのだろう」と、そこが神様から来る愛を受け取る何もない空間と

なります。神様の光を受けるための暗闇また空っぽの部分の部分を大事にするユダヤ人哲学者、レヴィナスも紹介されました。

「目的意識や方法論は愛を伝えない」ということばも印象に残ります。ホームレスの方に解決策を提示しても受け取ることはないとのことなのです。問題を抱えている生徒もそれで笑顔になることはないと言います。今のその人を認めることではないからです。「深さのない福音はどこか方法論的」で「目的意識は実は人を苦しめる」のです。私たちの神は、今の私たちとともにおられる、インマヌエルの神であると語られました。

神様との関係を正確に言い表して、「私を救ってくれる神ではなく、救いの神と出会う」とも語ら

れました。「私を救ってください」「私のこれを解決してください」と、神様からではなくやはり自分から始めてしまうのです。救いの神と出会うとは、「この方を目の前にしたとき、『あなたが必要です』という真の悔い改め」です。

午前と午後の講義は、ジョン・ウェスレーの説教集に出てくることばで結ばれました。「私たちが赦され、神様の子とされるのは、あなたの悔いた心でもなく、あなたの義でもなく、すなわち、あなたに属する何物でもなく、また聖霊によってあなたのうちになされる何物でもないのです。それは、あなたの外にあるもの、すなわちキリストの義と血のことです」。

CSK グループデボーションへのお誘い

CSK グループデボーションが祝福のうちに継続しています。ジュニアみことばの光の執筆者または編集責任者とともにデボーションをします。開催するのは月に一度、第2日曜日の午後15:00～15:40で定着しつつあります。どの節が心に留まったか分かち合っ、あとはショートメッセージを聞きます。参加するキャンプをCSK キャンプに変更する必要はありません。いつも参加するキャンプを大切にしながら、同じ中高生がみことばを分かち合う交わりが、北海道から沖縄まで日本全国に広がるならば幸いです。参加条件が一つだけあります。中高生が一人ではなく、同じ教会のどなたか大人の方もオンラインでつないで参加することです。お問い合わせはぜひ聖書同盟まで(044-900-8990/info@sujp.org)。

◇日本伝道会議でのスモールグループ・セミナーにご参加ください◇

日本ウイクリフ聖書翻訳協会、聖書を読む会、聖書同盟の三団体は、今年9月に岐阜県で行われる第7回日本伝道会議(JCE7)において分科会を開催します。第3日目の夜でオンラインでもご参加いただけます。分かち合う「みことば生活」の大切さを聖書に基づいて広くお伝えします。

日時：9月21日(木) 19:00～20:30
第一部 講演会「聖書の中のスモールグループ」
講師 島先克臣(聖書を読む会総主事)
第二部 分かち合い 19:30～20:00
第三部 全体会 20:00～20:20
参加費：無料

参加の仕方

1. 対面参加：日本伝道会議の参加者は分科会37をお申し込みください。
2. オンライン参加：ご氏名と「伝道会議分科会参加希望」とを明記して、sykoffice21@gmail.com宛にお申し込みください。今から申し込み可能で9月18日(月)まで受け付けます。直前に詳細とリマインダーメールを差し上げます。
日本全国からのご参加をお待ちしています。

◇トルコ・シリア地震を覚えて—SUトルコ支援◇

2月6日(月)にトルコ南部で未曾有の大地震が起きました。日本の聖書同盟は、SUトルコとはコンパニオンシップという関係で、SU韓国とともに支援をしています。

トルコでの働きがどのような影響を受けたか心配しましたが、トルコにいる関係者は無事だとのこと。被災された数多くの方々のために祈ります。なお、トルコでの働きは韓国から派遣されている宣教師たちの協力で続けられています。働きに関係する方々にも、地震で家を失った人たちがいます。その方々をどう助けるか模索中とのこと。SU韓国とも連絡を取りつつ、これからも働きのために祈り、支援したいと願っています。続けてトルコでの働きが前進するようにお祈りいただければ幸いです。

また、トルコ地震を覚えてご献金くださる場合の送金先は、郵便振替: 00160-8-173175 聖書同盟伝道部です。その際、振込用紙の通信欄に「SUトルコ支援献金」とご明記ください。お寄せいただいた献金はすべて、SUトルコへお送りいたします。

◇夏のCSKキャンプのためにお祈りください◇

今年のCSKキャンプは、対面で開催される2回目の夏キャンプです。月一度のキャンプ準備会もすでに対面となっています。インキャンプは東京カベナント教会をお借りし、アウトキャンプは保守バプテスト連盟・御徒町キリスト教会をお借りして、オンラインを併用しています。

<CSK インキャンプ>

日時: 8月7日(月)~11日(金)
会場: 鉾泉閣(山梨県富士吉田市)
講師: 山口武春師(ニューホープ横浜主任牧師)



<CSK アウトキャンプ>

日時: 8月14日(月)~18日(金)
会場: 松原湖バイブルキャンプ・アウトキャンプ場(長野県小海町)
講師: 芳田佳奈師(日本福音キリスト教会連合主任牧師夫人)

1989年以来続けられてきた関西地区CSKキャンプが終了しました

関西地区キャンプは3月に2泊3日の春キャンプを開催し、5月14日(日)のキャンプ感謝会をもって活動を終わりました。



働きの立ち上げから30余年、キャンプアドバイザーの松田吉広師が牧会する日本同盟基督教団・武庫之荘めぐみ教会をはじめ、それぞれの協力教会とそのスタッフおよび中高生を覚えて、お祈りいただければ幸いです。

左の写真は5月14日に開催されたキャンプ感謝会での記念写真です。皆さんがCSKの"C"を手で作っています。聖書同盟CSKからは嶋田総主事からの感謝のこぼれと記念品をお送りしました。

最近再版した書籍を紹介します

イギリスの優れた牧師・聖書学者であるジョン・ストット博士による"Understanding the Bible"を和訳した、1974年発行のロングセラー。15刷を重ね、多くの教会や大学、神学校で用いられてきた。聖書の目的、背景となった土地、旧新約聖書の物語、教え、権威、解釈、使い方が紹介されているが、単に知的に聖書がどのような書物であるかを学ぶだけでなく、実際に現代に生きる私たちがどのように聖書に向き合い、生きていったらよいのかを考える助けとなる書物。

<B6版 326 ページ、定価(本体 1,500 円+税) >

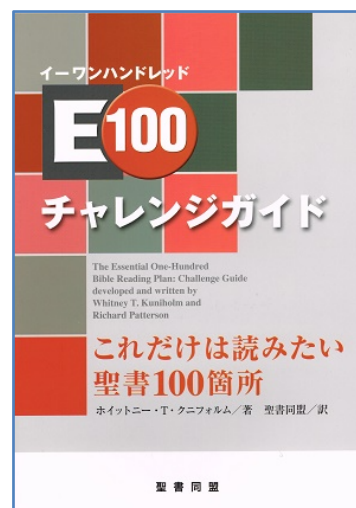


ニュージーランド SU スタッフを経て、OMF 宣教師としてシンガポール、マレーシアの神学校でクリスチャン教育を担当してきた著者が、特にアジアのキリスト者のために書いた著書。神との豊かな交わりのうちに「みことば生活」を送るために、聖書のことばを個人またグループで味わい、学ぶ方法が実例とともに紹介されている。本書を活用すれば、マンネリになりがちなデボーションに新たな思いをもって取り組むことができるだろう。

<B6版 183 ページ、定価 (1,000 円本体+税) >

アメリカ SU 総主事をしてきた著者によるガイドで、聖書全体の流れを個人、グループで学ぶことができる。旧約聖書、新約聖書の中で重要な 100 箇所を選び、その箇所に関して個人が学んだ後、グループで話し合いができるように質問が用意されている。各地の教会の聖書研究会でこのガイドが用いられている。

<A5版 140 ページ。定価 (800 円プラス税) >



ご購入は各キリスト教書店、あるいは Amazon で。聖書同盟事務所に直接注文もできます。本ニュースレター6 ページに記されている連絡先をご利用ください。

2022年4月～2023年3月献金者ご芳名（敬称略、あいうえお順）

聖書通読運動支援献金 4,156,415円

【教会・団体】愛知泉礼拝教会、旭川めぐみ礼拝教会、麻溝台礼拝教会、我孫子福音礼拝教会、生田丘の上礼拝教会、憩いの森チャペル、泉礼拝教会、岩井礼拝教会、牛久福音礼拝教会、宇治福音自由教会、宇都宮聖書バプテスマ教会、永福南礼拝教会、OMFザチャペルオブアドレション、大磯礼拝教会、大川礼拝教会、大府礼拝集会、小田原荻窪礼拝教会、貝塚聖書教会、上作延礼拝教会、かもい聖書教会、岸和田聖書教会、北秋津礼拝教会、北見めぐみ礼拝教会、衣笠中央礼拝教会、行田がナント教会、京都聖書教会、礼拝教朝顔教会、グレースコミュニティ、高座教会、越谷福音自由教会、栄福音礼拝教会、桜ヶ丘礼拝教会、寒河江礼拝教会、札幌希望の丘教会、シャロム福音教会、自由ヶ丘礼拝教会、上水めぐみ礼拝教会、湘南のぞみ礼拝教会、宣教教会、草加福音自由教会、高松ソウ教会、滝川福音礼拝教会、多磨教会、たまプラーザ礼拝教会、淡輪聖書教会、千歳烏山光の子聖書教会、都賀礼拝教会、津田沼教会、つつじヶ丘礼拝教会、津豊ヶ丘礼拝教会、東栄福音礼拝教会、東京がナント教会、東京国際基督教教会、東京聖書教会、東京フリー・メソヂスト南大沢チャペル、中野島礼拝教会、永山福音礼拝教会、長良礼拝教会、新潟聖書教会、西上尾福音教会、二宮山西礼拝教会、練馬神の教会、白金礼拝教会、馬天礼拝教会、羽後町聖書教会、浜田山礼拝教会、飯能礼拝聖園教会、東大宮福音自由教会、東村山礼拝教会、平塚福音礼拝教会、仏子礼拝教会、富士見ヶ丘礼拝教会、ぶどうの樹礼拝教会、北海道聖書学院学生会、北英礼拝教会、JECA 前橋礼拝教会、丸亀聖書教会、宮崎北聖書礼拝教会、横浜さちが丘礼拝教会、横浜山手礼拝教会、横浜緑園礼拝教会、ロー・キリスト伝道教会 【個人】阿部聖津雄、新井公恵、生島幹也、市田大二、伊藤宣道、稲垣浜子、稲垣博史、犬飼孝江、岩井清、岩下幸子、上原郁子、大石英城、大居寿美子、大高伊作、岡部朋子、奥田建一、小山田格、加々美要、片山修司、門谷信愛希、栢沼みき、北原光子、京田敬子、榎田信・智美、栗栖保、小山基代、斎藤潔・ますみ、佐藤淳子、佐藤真奈美、四宮義文・牧子、メ野明美、菅原茂、杉本ルツ子、杉山準規、関根弥生、多喜乃真実、田中肇、千葉健太郎・さやか、辻かつ子、津村誠、長野協子、長橋和彦、仁田彩子、野呂寿子、長谷川泰子、早坂恵、坂逸子、藤永ルツ、舟喜久子、舟喜献一、舟喜信生、古川弘幸、ホシノアユミ、牧野直之・伊豆、三輪芳光、森國昌子、森田清子、森正俊、矢吹賛、山村英夫、山本朱理、山本貢、龍富吉、若井啓治、匿名

中学生聖書クラブ協力会（CSK）活動献金 2,027,984円

【教会・団体】麻溝台礼拝教会、岩井礼拝教会、宇都宮聖書バプテスマ教会、永福南礼拝教会、OMFザチャペルオブアドレション、大磯礼拝教会、御徒町礼拝教会、小田原荻窪礼拝教会、貝塚聖書教会、上作延礼拝教会、行田がナント教会、清瀬福音自由教会、神戸聖書教会、栄福音礼拝教会、ソウの群れ教会、上水めぐみ礼拝教会、菅生礼拝教会、菅礼拝教会、宣教教会、玉川神の教会、千歳烏山光の子聖書教会、都賀礼拝教会、つつじヶ丘礼拝教会、東京がナント教会、長津田礼拝教会、西船橋キリスト教会、西堀礼拝福音教会、浜田山礼拝教会、飯能礼拝聖園教会、東村山礼拝教会、平塚福音礼拝教会、保守バプテスマ津田沼教会、本郷台礼拝教会、JECA 前橋礼拝教会、馬橋礼拝教会、武蔵台礼拝福音教会、横浜ソウ・キリスト教会 【個人】石井由紀、稲垣浜子、稲垣博史、内山智佐江、大原浩子、淤見康子、小山田格、甲斐博、加々美要、神田勇、宜志富順一、榎田信・智美、小西敬、小林弘幸・さかえ、菅生史子、タケウチマサキ、立石聖美、千葉健太郎・さやか、長橋和彦、本間早苗、溝口昌樹、三輪芳光、龍富吉

ジュニみこ献金 137,600円

【教会・団体】小田原荻窪礼拝教会、千歳烏山光の子聖書教会、西上尾福音教会、馬天礼拝教会、北栄礼拝教会 【個人】淤見康子、鈴木望、中村大輔、龍富吉

SU 東西アジア支援献金 113,000円

【教会・団体】大府礼拝集会、小田原荻窪礼拝教会、東京がナント教会 【個人】稲垣浜子、稲垣博史、小山田格、加々美要、三輪芳光、龍富吉

視聴覚活動指定献金 11,000円

【教会・団体】小田原荻窪礼拝教会 【個人】龍富吉

トルコ通読誌献金 126,990円

【教会・団体】小田原荻窪礼拝教会、自由ヶ丘礼拝教会、昭和聖書教会、拝島バプテスマ教会 【個人】飯島勅・千雍子、小山田格、竹内信人・敏子、龍富吉

主事活動支援献金 1,071,800円

【教会・団体】小田原荻窪礼拝教会、菅礼拝教会、東京がナント教会、東京国際キリスト教会つくば分会、JECA 前橋礼拝教会 【個人】阿部伊作・千秋、小山田格、甲斐博、加々美要、龍富吉

※以上ご芳名の皆様より捧げられた献金は伝道部の働きのために用いさせていただきます。これ以外に出版部へも多くの皆様から献金がございました。出版部への献金は、聖書通読誌・書籍の発送のために用いさせていただきます。皆様のご支援を心より感謝申し上げます。

2022 年度伝道部会計報告

収 入	予 算	実 績	達成率(%)
聖書通読運動支援献金	4,000,000	4,066,415	101.7
CSK 献金	1,700,000	2,027,984	119.3
通読誌発行支援献金	60,000	137,600	229.3
東西アジア SU 支援献金	300,000	113,000	37.7
視聴覚活動指定献金	30,000	11,000	36.7
トルコ SU 支援献金	40,000	126,990	317.5
主事支援特別献金	150,000	184,000	122.7
献金収入の合計	6,280,000	6,666,989	106.2
雑収入(受取利息含)	0	2	
収入 合計	6,280,001	6,666,991	106.2
支 出	予 算	実 績	達成率(%)
対外協力費	313,000	550,629	175.9
人件費	3,656,000	3,259,728	89.2
事務管理費	1,564,000	1,787,116	114.3
活動費	640,000	475,254	74.3
その他	107,000	48,158	45.0
支出 合計	6,280,000	6,120,885	97.5
収支差額	0	546,106	

手書きの「日ごとに」

ある日、聖書同盟事務所に A4 版の厚い書物が届きました。それは、1976 年に聖書同盟が発行した「日ごとに」一年を通して聖書を読むための聖句集-でした。それも、活字印刷の 366 日分ある聖句集を、すべてそのまま毛筆で写し、製本して作成されたものでした。実は、それを作成した方は、聖書同盟から発行された「日ごとに」が版切れのために手に入らなくなったと知り、ぜひ自分の身の回りにいる方々に使ってもらいたいと、聖書同盟に作成許可を求めてこられた方でした。販売用でないということでしたので、作成して構いませんとご返答したのです。

「日ごとに」は閏年にも使える 366 日分の聖書日課で、テーマごとに聖書のことばだけを集めて編集され、1 日分のページ全体が一つのメッセージになっています。当初の出版では基本的に新改訳聖書 1970 年版に基づいて作成されたのですが、それを新改訳 2017 年版に直して再出版する計画を進めています。ご期待ください。

2023 年度の会計報告について

皆さまのお祈りとご協力をいただき、主が必要を満たして下さって、活動を進めることができたことを心から感謝しています。上記の 2022 年度伝道部会計報告のうち、対外協力費が予算の 75 パーセントほど超過していますが、これはドル高のために世界のスクリプチャー・ユニオン (SU) 全体における働きのための分担金送金額が増えたことと、コロナ感染の影響でストップしていたトルコ SU 支援献金を 3 年分実施することができたことによります。

私たちの最も大きな課題は、特に CSK 活動のためにスタッフが与えられることです。現在は嶋田総主事が聖書通読関係の働きと CSK 活動全体の責任を一人で担っています。ふさわしい働き人が与えられることと、その働きを支える経済の裏付けが与えられることのために、ぜひお祈りいただければと願っています。

理事長 稲垣博史

発行：一般社団法人 聖書同盟 Scripture Union Japan
〒214-0013 神奈川県川崎市多摩区登戸新町 432-304
TEL 044-900-9047(出版部) 044-900-8990(伝道部) FAX 044-900-9048
E-Mail info@sujp.org ホームページ <http://www.sujp.org/>

献金送金先 郵便振替：00160-8-173175 聖書同盟伝道部
銀行口座：三菱 UFJ 銀行登戸支店(店番 258)普通 1138865 聖書同盟伝道部
出版物関係送金先 郵便振替：00140-4-57061 聖書同盟出版部